



# NPO法人篠山ナマステ会通信

2025 (R7) 年  
11月1日発行

No.16  
(通巻No.48)

## PHD研修生を迎えて 定期総会開催 篠山ナマステ会 総会



NPO法人篠山ナマステ会の定期総会を4月27日(日)丹波篠山市民センターで開催しました。総会後に、パネラーとして元PHD研修生のシヨバナさん、パッサンさん、ピシヨさんを迎え「ネパールと日本」について語ってもらいました。時間が少なく残念でした。ネパールからのPHD研修生ルビーさんが坂西事務局長と総会に参加してくれました。

総会でパッサンが日本で介護の仕事をしていることを話してくれました。

「私はネパールで子どもの頃からおじいさんとおばあさんと一緒に生活していました。いつもおじいさんとおばあさんの色々な話を聞くのが好きでした。何か悩みごとがあっても相談してくれたので人生が幸せだと思っていました。それで日本のお年寄りのことを知りたいなと思って介護の勉強をしました。」

現在介護職員として仕事しています。毎日利用者様のやりたいこと何かして楽しくなれるかを考えて行動しています。例えば、中庭にお花を作ったり、お野菜を植えたりして毎日その人らしい生活を送られるように支援をしています。本人がやりたいことをやってあげると笑顔がみられるのでユニット(10人ほど一緒に生活する所)で炊飯器でご飯を炊いたりして楽しく日々を続けられるように頑張っています。」

パッサンをはじめネパール人はまじめで勤勉、学習意欲が高いと評価されており、責任感を求められる介護業務は最適でしょう。日本の深刻な介護人材不足を背景に、今後ますます重要な役割を担っていくと期待されています。

「その人らしい生活を送られるように支援」する介護とは、考えさせられました。

篠山ナマステ会の原点はPHDの創設者岩村昇博士のネパールにおける体験にあります。岩村先生がネパールでの18年間の医療体験をもとに1981年に提唱された「PHD」運動は、国際協力で大切なものは物や金でなく、P(平和)H(健康)D(人づくり)であるとされました。そしてネパールをはじめアジアの多くの国から研修生を招き、農業、保健衛生、保育、女性問題、環境問題等について一ヶ年にわたって日本各地で研修を進めて、村々のリーダーを育てようと思われました。

篠山ナマステ会は、このPHD運動と連携し、岩村先生が掲げた理念の下に活動に取り組んでいます。

(設立20周年記念誌より)

# PHD研修生が丹波篠山市で研修

みずほの家で  
福祉体験



研修打ち  
合わせ



篠山国際理解  
センター訪問

堀毛さん宅で  
アクリルたわし作成



篠山養護  
学校訪問



丹南中学校の柔道場で  
柔道体験



## 味間小学校で教育交流



ミャンマーの僧院学校で先生をしているピューピューさんが10月14日から17日まで味間小学校で研修をしました。短時間でしたが、日本の教育を学ぶとともにミャンマーの様子も話すなど積極的に子どもたちと交流しました。浅田校長先生は、「多くの交流は嬉しい。子どもたちにとってメリットしかない」と話されました。帰国後の活躍を期待します。



ネパール市民講座  
アジアのお菓子をしよう

ネパール市民講座  
アジアのお菓子をしよう

8月2日(土)  
9時50分から12時(受付は開場より)

定員:20名  
締め切り:7月26日

申込費:0円  
申し込み・問い合わせ: 篠山ナマステ会

氏名	住所	電話番号	性別
			小学生・中学生・一般
			小学生・中学生・一般



子どもたちの参加ができる夏休みを利用したネパール市民講座「アジアのお菓子をしよう」を開催しました。

台湾の豆腐花トウファーとインド・ネパールのお菓子ジャレビー、サモサを作りました。講師の本荘賀寿美さんの適格な指示で上手にできました。アジアの食文化に触れる取り組みに多数のご参加ありがとうございました。



フリマイベント 第3回  
「せや！フリマに行こう!!」  
に参加

市民センタープラザ主催の「せや！フリマに行こう!!」に参加しました。たくさんの出店で賑わいました。今回はバザーやネパールグッズの販売と、アジアのお菓子サモサとネパール茶の提供をしました。出足を心配しましたが、盛況でした。

お越しいただいた皆さん、主催いだいた関係者の方々に感謝いたします。



## 今年度のネパール ツアー延期に!

2025年9月上旬、汚職反対や政府によるSNS禁止措置への反発を発端に、主に若者による反政府デモがカトマンズを含むネパール各地で発生し、それに伴う政情不安が発生しました。

政治的な混乱が続くと予想されており、2026年1月に予定していた今年度のツアーは延期することとなりました。



## SSSの代表が交代

アジア南太平洋地域から選ばれた第1期PHD研修生パラト・ピスタ氏(当時30歳)は1982年、篠山で1年間の研修後帰国し、社会奉仕団体サマ・セワ・サムハ(SSS)というNGOを設立しました。当時の「教育に恵まれない子に教育を!」の課題に対し篠山ナマステ会が発足し、支援と交流を開始しました。

長年代表を務めたピスタ氏が3月に勇退したとの連絡がありました。新代表はラトナ・クマール氏です。詳細は後日。



## 市民センターまつりに参加します

12月14日(日)「第14回丹波篠山市民センターまつり」が開催されます。本会の活動を紹介しながら、ネパールグッズとアジアのお菓子、ネパール茶の販売をします。ご協力をお願いします。

## 新会員紹介

賛助会員 足立久美子(丹波市)



NPO法人  
篠山ナマステ会



■事務局  
〒669-2213  
丹波篠山市  
中野129

## 皆さんの会費は ネパール支援に使っています

本会は会費のみで運営しています。ネパール市民講座、市民プラザのバザー、市民センターまつり等に参加し、多くの市民に国際理解につながる取り組みを行っています。

また、ネパールに対して「教育支援プロジェクト」や女性グループの「家畜増産プロジェクト」など国際協力事業を行っています。

この交流と支援を通して、共生や自立を学ぶとともに、ネパールの発展に寄与することを目指しています。



## 会費や寄付金の振込口座案内

- ・三井住友銀行 392-3960328
- ・JPゆうちょ銀行 00930-7-332918
- ・JA 丹波ささやま 店舗番号 7362-002  
口座番号 0050991

この広報誌は(公財)兵庫県国際交流協会の民間国際交流事業助成制度による助成を受けて発行しています。